



学校だより第11号
令和8年 3月
富山市立豊田小学校

チャンスを生かすために・・・

校長 吉野 哲

令和7年度も終わりが近付いてきました。「3月」は3学期のまとめだけでなく、1年間のまとめの月でもあります。子供たちの成長を見つめ、機会を捉えて伝えることで、一人一人がこれからの成長への期待をもつことができるように努めていきたいものです。

さて、私が担任をしていた頃、この時期によく子供たちに話したことがあります。それは次のような内容です。

皆さんには、長い人生の中で何度か生まれ変わるチャンスがあります。それまでの自分とは違う自分になることができるのです。そのチャンスは4月です。4月は進学したり進級したりして、新しい環境になります。新しい学校へ行ったり、新しい学年になったりする4月は、新しい自分を出していく絶好のタイミングなのです。

4月になったら、ぜひ新しい自分を出すようにしましょう。自分が思い描く、なりたい自分に生まれ変わり、新しい一歩を踏み出しましょう。

この時期は新しい自分を出して、生まれ変わるチャンスではありますが、そのためには準備が必要であると思います。その準備は、個人差はありますが多少時間がかかると言えます。具体的に言えば、次の三点が挙げられます。

① 自己を理解する

「自己を理解する」とは、自分自身を知ることです。自分の強み（自分のよいところ、得意なこと、がんばれそうなこと）や弱み（苦手なこと、何となく避けてしまうこと）などを、普段から意識したり、日々の行動を振り返ってみたりすることが必要になってきます。

② なりたい自分像をつくる

「なりたい自分像をつくる」とは、①の自己理解を基にしながら、なりたい自分の姿を想像し、どんなことでもいいから、なりたい自分に近付くための簡単な目標をもって行動することです。

③ 自分の可能性を信じる

「自分の可能性を信じる」とは、あきらめずに「自分是可以する」と思うことです。身近な大人の応援が必要になってくる場合があります。「大丈夫だよ」「できると思うよ」「応援しているよ」などの前向きな言葉が大切になってきます。

子供たちは等しく「よりよい自分でありたい」と願っています。よりよい自分を目指すためにも、今の時期に準備をして、4月という生まれ変わるチャンスが無駄にしないように見守っていききたいものです。